

東海村“自分ごと化”会議 福島第一原子力発電所等見学者アンケート結果

期 日：令和3年10月3日（日）

参加者：14人（男性10人，女性4人）

(1) 見学しての感想をお聞かせください。（口印の1つをチェック。）

- 見学してよかった。 …14
- 見学は意味がないと思った。 … 0
- どちらでもない。 … 0

上記を選択した理由

- ・当時のままの原発の建物を見る事ができて、あの爆発がどれほどの威力だったのか自分の肌で感じる事ができた。
- ・実際の規模感を実感できたことが良かったです。
- ・話で聞くのと見るのは違う。帰還困難区域の空屋，放置された家には心に響くものがあった。
- ・発電所の中だけでは無く地域の現状が見ることが出来てよかった。
- ・報道と実物を比較し凄さを感じ迫力を感じた。
- ・発電所の現状と実物を見られるよい機会であったため。
- ・もともと興味があったため。
- ・初めて福島第一原子力発電所を見ることができた。事故後10年の様子，廃炉に向けた取り組みが見れた。
- ・普段見られない場所や，ALPS 処理水を見ることができた。
- ・TV 等情報との比較が出来た。
- ・福島に震災後初めて来たので，ニュースでしか見たことのなかった発電所を見学できてその管理や対処方法等，肌で感じられて良かったです。
- ・実際の現場で放射線環境を体感できてよかった。
- ・報道だけでは知りえない状況を見れた。

(2) 興味・関心を持った所をお聞かせください。（該当する口印をチェック。複数可。）

【東京電力廃炉資料館】

- 廃炉資料館案内(シアター上映含む) … 5

【福島第一原子力発電所】

- 既設多核種除去設備（既設 ALPS） … 4
- 増設多核種除去設備（増設 ALPS） … 4
- 1～4号機原子炉建屋外観俯瞰エリア【降車】 …11
- 地下水バイパス設備 … 2
- サブドレン浄化設備 … 0
- 海側設備 … 2
- 6号機非常用ディーゼル発電機 … 4
- 雑固体廃棄物焼却設備 … 0
- 固体廃棄物貯蔵庫（第9棟） … 0
- 乾式キャスク仮保管設備 … 0
- 免震重要棟 … 2
- 高性能多核種除去設備（高性能 ALPS） … 2
- ALPS 処理水サンプル【降車】 …10

上記を選択した理由

- ・廃炉資料館は以前来ようとして、来られなかった所なので今回、見学できて良かった。
- ・実際に目で見える施設や設備が分かりやすくて良かったです。
- ・震災当時から、福島原発問題については関心があり、色々な物を見て来たので、実物を実際に見れた事は大きなインパクトだった。
- ・事故の現実と目に見えるかたちでの今の工事や当時の設備の様子が見えたから。
- ・実物を見ることが一見。
- ・ALPS 処理水の安全性を知ることが出来た。
- ・事故の状況と、その後の事故処理に深く関わるものであったため。
- ・原発事故をおこした原発は、これまでも廃炉が完了しているものはない。(チェルノブイリ、スリーマイルなど) 各国のやり方は、大きく異なると思うが、各国の英知を結集し、解決して行ってほしいし、廃炉完了にむけて、ひきつづき努力して行ってほしいと思いました。
- ・いろいろと話題になっている ALPS 処理水を見ることができた。
- ・線量計があちこちで鳴っているながらの見学でした。ちょっと緊張。貴重な経験でした。
- ・今後の海洋放出をふまえ、積極的な安全性アピールが必要では。
- ・発電所を間近で見られて、事故の大きさ、その後の大変さを感じました。
- ・現場がどうなっているか、実際の目で見ることができ、勉強になった。
- ・自らの目で最新状況を見る事ができたから。

(3) 福島第一原子力発電所事故の教訓として自分なりに思うことをお書きください。

- ・想定外の事がありすぎたのだと思う。持ち上げる時は、これでもかという位持ち上げておいて落とすときは口汚く攻撃する。あまりにもひどすぎる。
- ・安全対策にも費用が多くかかるので、現実的な効率良い対策を知恵を絞って実行すべきだと思います。それが難しい場合は、最新鋭の原子力発電所にリプレースすべきです。多数の住民が近くにいることを再認識することが大事だと思っています。
- ・全てを把握し、理解する事は不可能だが、外部に、人に依存しないようにする心構えが重要だと感じた。(正に自分ごと化…)
- ・発電所を今すぐに使用せずに他のエネルギーにすべてたよれない現状なのだから、新しいデータにもとづいて発電所を改善して、変わりのエネルギーにきりかえられるまで、きちんと運用していく必要があるのではないか。
- ・原子力の安全・安心の神話が崩れた。東海の老朽化した原子力の安全対策費をかけるより、いずれは廃炉にする原子力費用にプールした方が良い。
- ・住民の目線では、かなり天災に依るものだと感じる。これも災害ととらえて、防災意識を高めるしかないのかなと思った。
- ・防げたはずの事故がおきてしまったことが、ただただ残念。外国に比べて、日本の原発の法整備や東電のリスク管理がバカすぎて悲しくなる。日本には原発が必要と考えているが、今の日本のレベルで扱って良いのか疑問です。
- ・“想定外”の事象だと割り切るのではなく、現実的な研究開発と、それを踏まえた想定を正しく行い、必要な対策をつづけて行ってほしい。ただの“災害”として、すませるのではなく、教訓として他の原発(東海第二も)対策を行い、つぎにすすめて行ってほしい。
- ・リスク管理面で、万が一東Ⅱが事故になったら、原電が東電並の対応出来るのか？
- ・物事に絶対はないということ、未来は誰にもわからないし、過去は変えられないという当たり前の事実を改めて思いました。

- ・放射線に関する情報は、発信しても様々なバイアスがかかりやすいが、周辺環境に限ってはほとんど問題ない。自分なりに正しい情報の発信・受信に努めたい。
- ・昭和時代に建設された古いプラントを最新状況に併せて大幅修理を行わないと同じ事故に結びつくと思われる。DG・送配電盤の設置位置変更は計画有るか。

(4) 見学を通して印象深かったことや感想などをお聞かせください。

- ・第一原発の周辺の風景が一変していて悲しかった。緑が多い美しい場所だったのに…。
- ・屋外での線量管理がきちんとできていて良かったです。ありがとうございました。
- ・帰還困難区域に放置された家。
- ・水素爆発当時の姿のままの1号炉。同じ被災者として感じる物があった。
- ・地域の様子がかんがなかった。
- ・福島原発内へ立入れたことが良かった。(個人では無理)
- ・10年前のままで残っているものが多く、まだまだこれから処理が長く続くのを実感した。未知の技術課題が多いと思われるが、着実に進めていってほしい。
- ・ALPS 処理水が見れてよかった。無色透明。トリチウム除去の難しさ。
- ・水素爆発をおこした建物、けっこうそのままなど。
- ・帰宅困難区域の看板の向こうの様子。人が住まなくなると、ゴーストタウン化した国道6号線沿い。これが事故の最大の影響かな。二度とおこさない誓い。
- ・少しずつだが、復旧出来ているのが感じられた。
- ・発電所だけでなく、帰還困難区域の様子に荒れた店舗や、きれいな戸建の家にも住人が住めない景色に心が痛みました。
- ・見聞きはしていたが、実際に現場の線量が高かったこと。東電の作業員の方には頭が下がります。これからもがんばって下さい。
- ・今だ建屋内部が見えている状況。
- ・バスを降車し、歩いても手摺を触れても汚染しなかった。(汚染飛散・拡大防止が徹底されていた)

令和3年10月3日・東海村(村民生活部)防災原子力安全課